

事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和 4年12月 27 日

事業所名 放課後等デイサービスくら

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	6	1	0	2部屋に増やして 適切と感じる	
	②	職員の配置数は適切である	3	4	0	利用者の人数によっ ては多い日もあるが調 整が難しい時もある	利用者の人数やケア内容 によっては職員配置を 手厚くする必要があり、 今後も検討していく
	③	事業所の設備等について、 バリアフリー化の配慮が 適切になされている	5	2	0		
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCAサイクル（目標設定 と振り返り）に、広く職 員が参画している	4	3	0		
	⑤	保護者等向け評価表を 活用する等によりアンケ ート調査を実施して保護 者等の意向等を把握し、 業務改善につなげている	5	2	0		
	⑥	この自己評価の結果を、 事業所の会報やホームページ 等で公開している	3	2	0	わからないが公 開していると思う	公開している
	⑦	第三者による外部評価 を行い、評価結果を業務 改善につなげている	1	3	1	外部評価は受けて いないと思う。	「理念」を明示した方が よい
	⑧	職員の資質の向上を行 うために、研修の機会を 確保している	5	2	0	適宜アナウンス されている	
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切 に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観 的に分析した上で、放課 後等デイサービス計画を 作成している	6	0	0	個別支援計画は 立てられている	今後も職員間で検討し ながら個別支援計画を 作成していく
	⑩	子どもの適応行動の状 況を図るために、標準化 されたアセスメントツ ールを使用している	4	3	0		
	⑪	活動プログラムの立案 をチームで行っている	6	1	0		
	⑫	活動プログラムが固 定化しないよう工夫して いる	5	2	0	前回は基にしてい つも変化をつけてい る	
	⑬	平日、休日、長期休 暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援 している	3	3	0		
	⑭	子どもの状況に応じ て、個別活動と集団活 動を適宜組み合わせ て放課後等デイサー ビス計画を作成してい る	5	1	0	2便下校が多くな ると時間がなく集 団活動はできない 現状はある	時間があるときは 個別活動と集団活 動を組み合わせ て行っているの で、今後もその ように行っていく
	⑮	支援開始前には 職員間で必ず打合せ をし、その日行われ た支援の内容や役割分 担について確認して いる	7	0	0		
⑯	支援終了後には、 職員間で必ず打合せ をし、その日行われ た支援の振り返り を行い、気付いた 点等を共有してい る	7	0	0			

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	0		
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	1	0		
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	2	4	0		
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	3	0	サービス担当者会議にまだ出席したことがない	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	7	0	0		
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	7	0	0		
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	5	0	情報交換はできていないと思う。	必要に応じて就学前施設等に見学に行っている。今後も検討する
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	3	1	まだ見聞していない	卒業生は必要に応じて引継ぎ資料の作成等を検討したい
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	2	1		研修は専門機関と連携しながら定期的に行う
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	4	2	コロナ禍で直接の交流はできていない	直接の交流はコロナ禍でもあり希望も少ないので現在は行っていない
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	2	3	1		
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	0	保護者が気づくような伝え方をするなど配慮している	連絡帳や送り時の連絡、面談等で情報交換している
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	0	4	1	ペアトレをするほどの時間的ゆとりがない	
		⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	1	0	
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	2	3	0	相談があれば支援を行っていると思う	
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	4	0	コロナ禍でできていない	今後、保護者会もオンラインで行うことを検討する

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	0	苦情などへの対応は迅速に行うようにしている	
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	0	通信を発行している	通信や連絡事項のお便りなどは適宜発行しているので、今後も継続する
	③⑤	個人情報に十分注意している	6	0	0	写真の掲載等、通信や展示は保護者に確認している	今後も十分注意していきたい
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	0	送り時にその日の様子を伝える。面談はオンラインで行っている	コロナ禍が収束するまでは面談はオンラインも活用しながら行う。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	2	0	街の駅で作品展を行い、知ってもらうようにしている	今後も年に1回は地域の協力も得ながら展示会を行い情報発信していく
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	1	0		
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	0		
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	0		
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	0	0		
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	0	0		
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	0		

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。